

## 【活動報告】

神奈川の身近な自然を訪ねて ～皇居東御苑・北の丸公園の自然と歴史を訪ねる～

日時：2023年9月23日（土）27日（水）10：00～14：30

場所：東京都千代田区

参加者：一般54名（23日18名、27日36名）スタッフ9名

JR東京駅に集合し、日比谷入り江、將軍塚、大手町の森などの話をしながら丸の内のビル街を通り、皇居東御苑の大手門に向かいました。大手門で簡単な手荷物チェックを受けた後、苑内の散策をはじめました。

二の丸地区では、同心番屋、百人番屋、二の丸庭園、菖蒲田、都道府県の木などを見学しました。銅門付近の石垣では、石の大きさ、また、切込接、打込接、布積、乱積、算木積など加工や積み方を確認しました。二の丸庭園では、コブシ、ヤブミョウガ、ヌスビトハギ、ワレモコウ、ハギ、ノシランなどを観ることができました。庭園の池では、アサザ・コウホネ・ヒメコウホネ・ヒツジグサを観ることができました。

汐見坂を上がり、本丸地区へ向かいました。江戸時代、汐見坂から東方向を眺めると、日比谷入り江を埋め立てて作られた大名屋敷の街並み、さらに砂州の上に広がる東海道沿いの町屋の街並み、そして、江戸湾を見ることができたことでしょう。

本丸地区では、イタヤカエデ、ユズリハ、タブノキ、タイサンボク、モクゲンジ、カラタネオガタマ、アブラチャン、ハクウンボク、シロダモ、タラヨウ、トチノキ、トチュウ、果樹古品種園に植えられたカキや柑橘類などを観ながら本丸休憩所に向かい昼食としました。

昼食後、松の廊下跡、富士見多聞、天守台を経由して、北桔橋門から北の丸公園に向かいました。

北の丸公園では、カシワ、チャンチン、ムクロジ、アブラギリ、イヌビワ、マテバシイ、スダジイなどの植物を観察しました。気象庁が設置した気象観測露場では、様々な観測機器を見学。また、露場脇の観測データの表示施設では、気温や湿度などの数値が短時間で変化する様子を見ることができました。

二日間とも雨に降られることなく、皇居東御苑と北の丸公園での植物観察と史跡めぐりを楽しむことができました。

（大橋記）



皇居東御苑/二の丸庭園



皇居東御苑/果樹古品種園



皇居東御苑/富士見櫓



皇居東御苑/天守台



北の丸公園/気象観測露場